



コスモスだより

【ニューストピックス】

泌尿器科

進行した前立腺がんの 予後を改善するホルモン療法

「排尿ケアチーム」の活動

【ニューストピックス】

4月から新体制でスタート

【お知らせ】

腹臥式マンモトーム生検装置が新しくなりました
第80回 市立貝塚病院市民公開講座のお知らせ
市立貝塚病院のロゴマークが新しくなりました
市立貝塚病院のホームページが新しくなりました
開業医紹介パンフレットのご紹介

(医療従事者向け情報)

令和3年度 紹介件数のご報告

病院の理念 基本方針

地域住民を支える良質な医療の提供

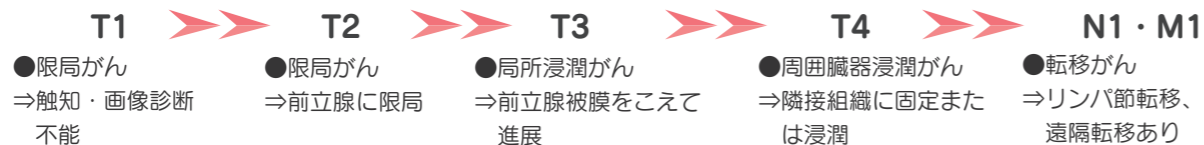
1. 地域の中核病院として、住民の方々の健康を守ります。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実を目指します。
3. 急性期医療に加え、緩和ケア、在宅支援など、地域の医療機関との連携を密にし、地域の中で信頼される病院を目指します。
4. 住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく暮らし続けることができる「地域包括ケア」の推進に努めます。
5. すべての職種が協働して治療に取り組むチーム医療を実践します。
6. 合理的で健全な経営を推進し、職員一人ひとりが働き甲斐のある環境を整備します。

泌尿器科

進行した前立腺がんの 予後を改善するホルモン療法

手術や放射線などによる治療が難しい進行した前立腺がんにも、ホルモン療法（内分泌療法）という選択肢があります。近年、新しい薬剤が開発されたり新たに保険適応になるなど、ホルモン療法の選択肢が拡大。予後の改善効果が期待できるホルモン療法を当院でも積極的に採用しています。

《病期分類》



《主な治療法》

PSA 監視療法

経過観察で当面治療しない

手術療法

放射線療法

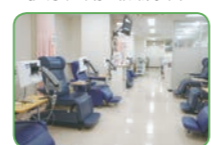
高精度放射線治療装置
リニアック



放射線治療医・医学物理士・放射線治療専任の放射線技師が揃い、より効果的で安全な治療に取り組んでいます。

外来化学療法センター

抗がん剤（点滴薬）



抗がん剤には内服薬と点滴薬があります。外来化学療法センターでは、日常生活を維持しながら点滴薬による化学療法が受けられます。

化学療法
抗がん剤

ホルモン療法

皮下注射 飲み薬

ホルモンの使用法

ホルモン療法の薬剤は、単独で使用する他、放射線療法や化学療法など他の治療法と併用する場合があります。いずれの場合も、患者様の症状だけでなく、ご意向をしっかりと伺い相談しながら治療法を決定しています。

ホルモンの副作用

長期に続けることにより、骨粗鬆症や体重増加・ほてりなど女性の更年期障害に似た症状や、勃起障害などの副作用が発生することが知られています。

前立腺がんは男性ホルモンの影響を受けて増殖します。ホルモン治療は、この男性ホルモンの働きを抑える治療法です。薬物だけでなく、男性ホルモンの約95%を分泌する精巣を切除する外科的ホルモン療法もあります。

精巣・副腎からの
男性ホルモンの分泌
を抑える

前立腺の細胞内での
男性ホルモンの作用
を抑える

精巣を
切除

男性ホルモンと
同じ働きをする物質
の合成や作用を抑える

男性ホルモンがなくても増殖する前立腺がんもあります。また、通常ホルモン剤が効きにくくなる場合もあり、そうした症例に使われる薬剤です。

PSA 検査 を受けましょう

前立腺がんの可能性のある方を選び出す腫瘍マーカー（PSA）の検査は、採血だけで簡単にできます。家族に前立腺がんを罹患した人がいれば40歳から、そうでない方も50歳になれば、定期的にPSA検査を受けましょう。

●健診センター「人間ドック基本メニュー」⇒ 血液検査にPSA検査が含まれています。（男性のみ）

●健診センター「泌尿器オプション」⇒ 前立腺がんの中には、PSAが上がらないタイプ（PSA陰性がん）もあります。こうしたタイプの前立腺がんを含め、より正確な健診には、触診（直腸診）・MRIもセットになった「泌尿器科オプション」がおすすめです。

【検査】腫瘍マーカー（PSA）
触診・MRI
【費用】22,000円



排尿ケアチームの活動

術後の尿漏れ 排尿障害 尿道カテーテル留置

私たちは、2020年から活動を開始した、排尿に関する専門チームです。泌尿器科医師を中心に、排尿ケアの研修を受講した看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士、医事課の多職種で構成しています。

入院中治療の一環で尿道留置カテーテルを挿入した、術後の尿漏れ、排尿障害など排尿に関する問題で元来の日常生活の質が低下する場合があります。そのような事態を予測し、可能な限り1日でも早く、もとの排尿習慣が取り戻せるようにチーム活動を行っています。



- 1 介入依頼** 全病棟スタッフから、排尿障害が予測される患者や下部尿路機能障害で困っている患者様への介入依頼を受けます。
- 2 ラウンド & カンファレンス** 介入依頼を受けた患者様には、毎週水曜日にラウンド（病室に出向いて状況確認など）を実施。病棟スタッフとカンファレンス（検討会）を実施し、「薬物療法・運動療法・行動療法・自己導尿指導」などの包括的な排尿ケアの提案や直接指導を行います。
- 3 評価** その後チームで障害の状況を評価。
◎排尿に関する問題が解決するまで退院後も継続します。

この活動をきっかけに、尿道留置カテーテル挿入のまま退院される患者さんの割合は低下しました。また、スタッフ自身が排尿ケアを通して患者の尊厳を守る思いが強くなったように感じます。昨年度は不要な尿道留置カテーテルを早期に抜去する「カテーテル抜去パス」を院内のクリニカルパス委員、感染対策チームと協働で作成しました。高齢化が進む中、患者さんの排尿の尊厳を守り、その人らしい生活が送れるように排尿ケアの観点からチーム力の向上に取り組んでいきます。

◆ どのような治療を選ぶのか、患者様自身の病気に対する考え方が重要です

前立腺がんにはいくつかの治療法があり、単独または組み合わせて治療を行います。治療法を選ぶ際には、腫瘍の悪性度や進行度合い、患者様の年齢や合併症によるリスク、そして患者様自身の考え方が重要です。薬剤によるホルモン治療は、手術が難しい患者様にも使えるうえ、身体への負担が少ないというメリットがあります。薬剤の種類が増えより効果的な薬剤も保険適応になり、選択肢が広がりました。予後改善の成果も上がっています。前立腺がんの罹患率は男性の1位ですが、5年相対生存率は99%と予後は悪くありません。健診のPSA検査で早期に発見されやすいことも、その要因の一つでしょう。どのがんでもそうですが、早期発見早期治療に勝るものはありません。当院の健診センターでも前立腺がんの検査が受けられますので、定期的な健診を是非受けてください。また、前立腺がん治療の合併症でよく起こる「尿漏れ」についても、「排尿ケアチーム」が積極的に活動しています。納得のできる治療と治療後の生活の改善に向けて、泌尿器科・排尿ケアチームメンバーの総力で取り組んでいきます。

《資格》●日本泌尿器科学会専門医 / 指導医 ●日本臨床腎移植学会認定医
●日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 ●臨床研修指導医
●日本排尿機能学会専門医 ●難病指定医

泌尿器科部長
杉本 公一

4月から新体制でスタート

院長就任のご挨拶



院長 長谷川 順一 <専門領域>消化器外科、大腸癌治療、炎症性腸疾患、肛門疾患

「地域の皆さまに信頼され愛される病院」を目指して

2022年4月1日付けをもちまして、今本治彦先生から病院長職を引き継ぐことになりました長谷川順一です。現在、当院を取り巻く医療情勢はますます厳しさを増しております。特に、過去2年間は新型コロナウイルスの感染拡大が継続し、時に災害レベルの災厄をもたらし、医療崩壊に近い厳しい状況を何度も乗り越えて来ました。今後のWithコロナそしてAfterコロナでの的確な判断を求められる中、院長就任という重責を託されたことに身の引き締まる思いがしております。

当院は民間の医療機関には困難とされる公益な医療を担う中核病院です。「高度・先進医療」「がん医療」「地域医療」を三本柱に、住民の皆さまに良質な医療を提供するため、技術の研鑽と医療の質の向上・改善に取り組んでおります。我々が目指す良質な医療とは、高度な医療に加え患者さんの気持ち・悩みをしっかりと見つめる「患者さんに寄り添う医療」の実践です。超高齢社会を迎えるにあたり、地域の皆様が住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築をさらに推進してゆく所存です。

当院は、日本医療機能評価機構が定める病院機能評価（3rdG：Ver2.0）認定の更新にあたり、6月下旬の訪問審査を受けるべく最終段階に入っています。現在、それぞれの評価項目が整理され、具体的な改善を急ぎ行っているとところです。この第三者評価を受けることで、医療の転換期の変化に応じた新たな目標が明らかになり、その達成に向けて職員が一丸となって取り組むという意識が期待されます。

時代の流れに応じた改革を行いながら「地域の皆さまに信頼され愛される病院」を目指し、誠実に職務を遂行してゆく所存です。改めまして、地域の皆さまのより一層のご協力とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

- 《資格》
- 日本外科学会専門医 / 指導医
 - 日本消化器外科学会専門医 / 指導医
 - 日本消化器病学会専門医 / 指導医
 - 日本大腸肛門病学会専門医 / 指導医 / 評議員
 - 日本内視鏡外科学会技術認定医 / 評議員
 - 日本がん治療認定機構がん治療認定医
 - 日本医師会認定産業医
 - 日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 認定
 - 日本臨床外科学会評議員
 - 日本職業 / 災害学会評議員
 - 米国臨床腫瘍学会 (ASCO) Full Member
 - 米国内視鏡外科学会 (SAGES) International Member

新任顧問



乳腺外科顧問 玉木康博 <専門領域>乳腺疾患、遺伝性腫瘍

このたび、大阪国際がんセンターを定年退職し、市立貝塚病院乳腺外科に顧問として就任しました。乳がんは女性の約9人にひとりが罹患するとされ、さらに増加する傾向にあります。一方で自己触診や検診により比較的早期に発見することができ、適切な治療を受けることによって完治できる可能性の高い病気です。治療後の人生の質（QOL）を大きく損なわないように、術後の乳房変形をできるだけ少なく、また目立たない創でおこなう手術に取り組んできました。これまでの知識と経験を活かして地域のみなさまのために貢献したいと考えています。また遺伝性乳がんのカウンセリングや治療にも取り組んでまいりますので、お気軽にご相談ください。

- 《資格》
- 日本乳癌学会認定医 / 専門医 / 指導医
 - 日本外科学会専門医 / 指導医
 - 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
 - 日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍専門医 / 指導医
 - 日本がん治療認定医

新任部長



内科部長 中村 貴 <専門領域>循環器

平成22年4月から約4年間にわたって、市立貝塚病院の非常勤医師として週1回の外来勤務をさせて頂いておりました。前任地は近畿大学病院で、専門は循環器一般です。昨今の循環器内科医が求められる地域医療の役割のひとつとして、様々な心疾患が原因となって生じる心不全医療が挙げられます。心疾患の診断に重点を置きながら、侵襲的な治療介入の是非を総合的な視点から判断し、地域医療に少しでも貢献できるように邁進したいと考えております。これからもよろしくお願い申し上げます。

- 《資格》
- 日本内科学会認定内科医
 - 日本循環器学会専門医
 - 日本心血管インターベンション治療学会 CVIT 認定医

新任部長

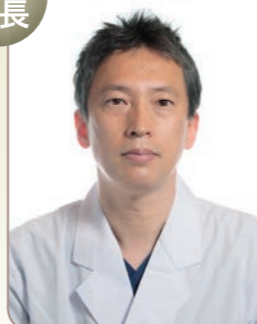


整形外科部長 名倉 温雄 <専門領域>小児整形外科、外傷

本年1月より着任しました名倉温雄（なくら あきお）です。整形外科医としてちょうど20年が経ち、そのほとんどは、子供の骨・関節の成長障害に対処する小児整形外科を専門として、子供の運動器の健康を育ててまいりました。市立貝塚病院の整形外科では、関節や脊椎の変性疾患や退行性変化、骨折などの外傷に対する治療の割合が多く、子供の成長障害を扱うことは限られますが、これまで培ってきたきめの細かい安心を与える診療を行うことで、中高年の方々に対しても、運動器の健康を守っていきながら、貝塚での診療に貢献していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

- 《資格》
- 日本整形外科学会専門医
 - 日本整形外科学会認定リウマチ医
 - 日本整形外科学会認定スポーツ医
 - 日本リハビリテーション医学会専門医

新任部長



産婦人科部長 岡 藤博 <専門領域>産婦人科一般

4月より産婦人科で勤務しております岡 藤博（おか ふじひろ）と申します。出身は滋賀県で、1997年秋田大学卒業です。18年前に半年間、岸和田にいたことがあり、この辺りの風景をととても懐かしく感じています。前任の日本生命病院では腹腔鏡手術を中心に婦人科診療にあたっていました。他院では腹腔鏡では無理と言われた症例でも、可能であれば腹腔鏡で手術していました。当院でも、なるべく小さな創で患者様の体と心に優しい治療を提供できればと思っております。患者様全員が当院に来てよかったと言っていただけるよう、全力で診療に当たる所存です。何卒よろしくお願い致します。

- 《資格》
- 日本産科婦人科学会専門医
 - 日本外科学会専門医
 - 母体保護法指定医
 - 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
 - 日本周産期・新生児医学会 NCPR 専門コース修了

新任部長



小児科部長 岡野 意浩 <専門領域>小児科一般

小児科の岡野 意浩（おかの むねひろ）と申します。貝塚病院で2014年4月から2年間就任した後、6年ぶりに戻って参りました。その6年間は、近畿大学病院で白血病・止血異常・免疫不全・周期性発熱などを専門としておりました。よく熱を出す、熱の原因がわからない、血が止まりにくい、青あざがよくできる、リンパ節が腫れているなど、その他にも幅広く対応しておりますので、お子さんの体調のことで心配な事がございましたら、お気軽にご相談頂ければと思います。親しみやすい医療を目指しておりますので、宜しくお願い致します。

- 《資格》
- 日本小児科学会専門医
 - 難病指定医
 - 小児慢性特定疾患指定医

■腹臥式マンモトーム生検装置が新しくなりました

3月末より、乳腺バイオプシー（生検）の装置が新しくなりました。装置は、従来と同様に腹臥位の状態で検体（細胞）の採取ができる「腹臥式マンモトーム装置」です。

「腹臥式マンモトーム生検装置」とは？



マンモトームとは、乳房内にできた病変に約4mmの針を刺し、組織を吸引・採取する針生検器機です。乳がんの疑いがある細胞の一部を採取して顕微鏡で病理組織学的に検査し、乳がんの確定診断に用います。

検査時は局所麻酔で痛みを抑え、画像で針と病巣の位置を確認しながら行います。

腹臥式装置は、うつ伏せで横になった楽な姿勢で行え、針を刺す状況が見えないため、患者さんの心理的負担も軽減することができます。



新しい装置の特徴は？

- 高精細 FPD を搭載し、微細な石灰化も明瞭に確認できます。
- トモシンセシス（3D マンモグラフィX線撮影装置）を用い、従来では難しかった病変も写す。撮影回数も減少し、検査時間の短縮・被ばくの低減を実現しました。
- 画像からワンクリックで針を挿入する3次元座標を決定することができ、操作時間の短縮を図れます。

■第80回 市立貝塚病院市民公開講座のお知らせ

【テーマ】認知症のはなし

【日時】5月25日（火）14:00～15:00

【講師】認知症看護認定看護師 直井 愛子

【場所】市立貝塚病院 7階講義室

【費用】無料（定員先着30名 要予約）

【申込・お問い合わせ】

- 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865
- 1階総合案内でも予約受付しております。
- FAX 受付：072-439-6061

（お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程を記入のうえ送信してください）

※マスク着用でご参加ください

※当日、発熱のある方はご参加いただけません

認知症看護認定看護師が
わかりやすくお話しします

知 認
症 の お は
し な は

・・・認知症って・・・？
「一つでも」「や」「を」
「一つでも」「に」「きたら」・・・
・・・もっと笑顔になれるはず・・・

令和4年
5月25日
(火)

手話対応のご希望は
5月18日(火)までに
ご連絡ください。

《手話通訳あり》

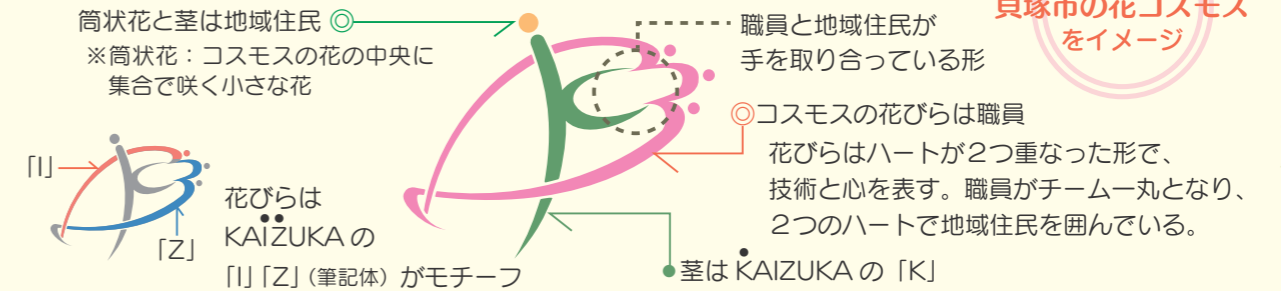
【市民講演会の情報はホームページをご確認ください】

新型コロナウイルス感染症蔓延のため、一時中止しておりました市民公開講座は、5月より再開予定です。但し、新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合もあります。市民講座の内容や開催の状況は、ホームページのトップページにあるお知らせでご確認ください。

■市立貝塚病院のロゴマークが新しくなりました

当院では、3月にロゴマークを変更しました。新しいロゴマークをどうぞよろしくお願いいたします。

コンセプト 貝塚市立の病院として、チームみんなで技術と心をひとつに
地域住民と手を取り合う



全体として
貝塚市の花コスモス
をイメージ

■市立貝塚病院のホームページが新しくなりました



当院では、多様な利用者様のニーズに対応するため、ホームページの全面リニューアルを実施しました。

新しいホームページでは、患者様向けと医療関係者向けの情報を分けてわかりやすくし、また、利用者様が何度もクリックしなくても必要な情報にたどり着けるよう、カテゴリ・メニュー・コンテンツの構成を刷新しました。機器に合わせて画面配置が変わるレスポンシブルデザインを採用。スマホやタブレット等でも見やすくなりました。

ホームページには実際当院で働いているスタッフが被写体となった写真を使用しており、当院の雰囲気をお伝えすることでより安心して受診していただけることと思います。また、「ドクターインタビュー」のコーナーを設け、各診療科の医師からの「わかりやすい医療のお話」を順次掲載していく予定です。

■開業医紹介パンフレットのご紹介

市内の医療機関を中心とした開業医紹介のパンフレットを1階コンビニ壁側「地域医療連携コーナー」に設置しております。是非ご利用ください。

※医療機関のパンフレット設置のご希望も承っております。

【お問い合わせ】 地域医療連携室 ☎ 072-422-5865



医療従事者向け情報（地域連携ニュース）

■令和3年度 紹介件数のご報告

地域の医療機関の皆様から1年間で7,660件のご紹介をいただきました。ありがとうございました。地域の医療機関等と密な連携を図り、患者様にも医療機関の皆様にも、より信頼していただける市民病院となるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科別	件数	緩和ケア	152
内科	757	小児科	428
消化器内科	1,140	皮膚科	108
神経内科	130	泌尿器科	613
外科・消化器外科	249	産婦人科	1,268
乳腺外科	685	眼科	783
形成外科	391	耳鼻咽喉科	19
整形外科	447	放射線科	490